

患者さんへの臨床研究のお知らせ・ご協力をお願い

このたび当院では、集中治療室で治療を受けられる患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたします。実施にあたり、カルテを閲覧し情報を記録させていただきます。患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない患者さんはその旨を担当医にお伝え頂くか、下記に記載の担当者までご連絡をお願い致します。

【研究課題名】

重症患者における末梢静脈カテーテルによる静脈炎の発生頻度とそのリスク因子の検討
(AMOR-VENUS study)

【研究責任者】

医学部総合医学第2講座 教授 讃井 将満

【研究の対象となる方】

2018年1月1日から3月31日の間に集中治療室(ICU・CCU)に入室し、集中治療部による治療を受けた患者様のうち、静脈カテーテルが挿入されている18歳以上の方が対象です。

【研究の目的・方法】

患者様に挿入されている静脈カテーテル(いわゆる点滴)による静脈炎の頻度やリスク因子を検分析し、安全に管理するための方法を検討致します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

患者情報(年齢、性別等)、カテーテルの情報(挿入部位、挿入期間、種類等)、投与薬剤に関する情報(種類、濃度、投与速度等)等を、カルテより収集させていただきます。

【外部への試料・情報の提供】

本研究で取り扱う情報は、全て匿名化した上で、共同研究機関・共同研究者に提供され、共同で本研究に利用します。情報を扱うのは本研究グループに所属する研究者に限定します。

【研究組織】

研究実施機関は、亀田総合病院(主幹施設、責任者:安田英人)、自治医科大学附属さいたま医療センター(責任者:讃井将満)の他、広島大学病院、武蔵野赤十字病院、堺市立総合医療センター、藤田保健衛生大学病院、日本赤十字社和歌山医療センター、JA広島総合病院、香川大学医学部附属病院、香川大学医学部附属病院、高知大学医学部附属病院、済生会宇都宮病院、京都第一赤十字病院、東北大学病院、三井記念病院、国際医療福祉大学三田病院、山形大学医学部病院、練馬光が丘病院、済生会熊本病院、沖縄県立中部病院、城山病院、岡山済生会病院、長崎大学病院の合計24施設です。

【研究の実施期間】

2017年11月17日~2020年3月31日

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等ありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理

人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんには不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

TEL048-647-2111

研究担当者：麻酔科・集中治療部 讃井 将満

麻酔科・集中治療部 古川 拓

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課

TEL048-648-5225